

いつでも  
どこでも  
何度でも  
何人でも  
視聴できる!

介護技術の  
向上と統一が  
図れる!

マニュアル  
作成の負担と  
教育コストが  
減少する

複数のカメラ  
での撮影に  
より、多角的に  
理解できる

## 介護技術動画ネット配信



**同時ログインも可能に!!**

システム強化(追加費用なし!!)  
同時ログイン実装化!!  
前よりも同時ログインがしやすくなる!!  
複数のパソコン、タブレット、スマートフォンからの  
同時アクセスが可能に!!

お茶の水ケアサービス学院

## ごあいさつ

保健・医療・福祉の分野において、介護チームの介護技術の向上及び統一は大きな課題です。そして、事業所及び施設においては、技術の向上と統一を図るために、様々なマニュアルを作成していることと存じます。

動画や紙等のマニュアル作成には膨大な労力を費やします。しかし、その労力に見合った効果を得られないケースも多いと思われます。

苦勞して作ったマニュアルが現場で活用できないのは、動画マニュアルにおいては、動画の再生に手間や時間がかかったり、紙媒体のマニュアルにおいては、解り難い内容になっていたりすることが原因の一つとして考えられます。また、指導側の指導内容や指導方法が標準化されていないことも技術の向上と統一を阻む要因になっています。

そこで当学院では、介護チームが介護技術の向上と統一を図れるよう『介護技術動画ネット配信』を開始することに致しました。

『介護技術動画ネット配信』においては、介護全般に関わる手技を動画で配信することを通して、現場の職員の介護技術の向上と統一を図ります。複数のカメラによる撮影により死角を無くすことで多角的に理解できるように工夫をしています。さらに、指導者側の指導用マニュアルとして、指導上のポイント（気をつけるべきところやコツなど）を静止画として動画より抜き出すとともに短いコメントを添えた指導マニュアルにより、指導内容の標準化を図ります。

この『介護技術動画配信』を活用することで、基本的なマニュアルを独自で作成する負担を減らせる他、OJT 指導者の指導内容の標準化を図れると考えています。

マニュアルの内容は随時追加し、配信コンテンツの充実をしていく予定です。

マニュアルとしての利用のみならず、現場での実践的な研修として活用することも想定しています。

事業所及び施設のマニュアル作成業務、OJT 指導者の教育負担の軽減、介護技術の向上及び統一、法令遵守に向けたマニュアル整備に向けて、本サービスをご活用いただけることを心より願っております。

お茶の水ケアサービス学院

学院長 神 智淳

# ネット配信のメリット

## 外国人の教育・育成に絶大な威力発揮！！ 外国人への教育担当者が不在でも心配なし！！

- ・ 1 クリックで他の言語に切り替え可能で、複数の国からの受け入れ施設でも導入負担軽減
- ・ 東アジア、東南アジア全対応 15 言語字幕搭載（インド、バングラディシュ除く 15 言語、日本語、英語も搭載）

## 動画により、視覚的に介護技術の手技や手順を理解できる

- ・ 複数のカメラによる撮影により、多角的かつ視覚的に把握できる
- ・ 動画により介護の手順を学ぶことができる
- ・ 静止画よりも情報量が多く、イメージが掴める

## いつでも、どこでも、何度でも、何人でも使用できる

- ・ 24時間いつでも見れるので、指導者がいなくても技術の向上を図れる
- ・ ネットが繋がる環境であれば、在宅の介護時や施設の居室で見ながらケアできる
- ・ 何度でも見れるので、技術の精度が高くなる他、手技の劣化を防ぐことができる
- ・ 1 アカウントを職員全員で使いまわすので、安価で介護技術の統一ができる
- ・ DVD ではないので、手軽に使用できる

## OJT 担当者、研修担当者の負担を軽減できる

- ・ 動画マニュアルの活用により、基本的な技術指導の負担が軽減できる
- ・ 指導マニュアルは静止画のため、ポイント（注意すべきところやコツ）を伝えやすい
- ・ 研修にも使える動画となっており、研修担当者の負担の軽減になる
- ・ OJT 担当者の指導内容の統一が図れる
- ・ 指導マニュアルや点検表は介護技術のチェックとして活用できる
- ・ 新人の育成にも最適

## 日本を代表する専門家が担当

- ・ 高度な技術を何度も確認できる
- ・ 最新の技術を学ぶことができる

## 法令遵守のために活用できる

- ・ 法令遵守の体制整備に活用できる
- ・ 毎年のマニュアルの更新の作業が不要になる

## 重要なのは「使いやすさ」 操作はいたって簡単であり、操作上の質問は皆無

- ・ ストリーミング配信のため、パソコンの操作技術がなくても簡単に再生できるので、活用しやすい
- ・ 受講方法はユーザー名、パスワードをいれるだけ  
※簡単に視聴できないと、効果が見込めない

※ストリーミング配信とは…

ストリーミング（streaming）とは、インターネットのネットワークを利用して動画や音声をパソコン・スマートフォン・タブレット等で再生するための配信方式のことです。音声や動画のデータが端末に保存されない為、端末の容量を気にせず、すぐに視聴を開始できます。③



# ネット配信の活用事例

**システム強化**（追加費用なし！！）

**同時ログインも  
可能に！！**

同時ログイン実装化！！前よりも同時ログインがしやすくなる！！  
複数のパソコン、タブレット、スマートフォンからの同時アクセスが可能に！！

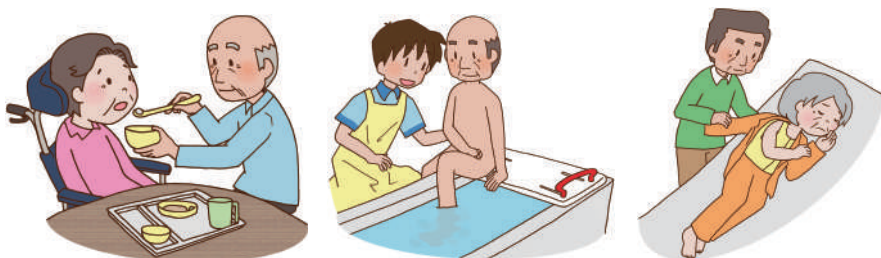
事業所内研修に活用！日本を代表する「専門家の技術」が学べる



手元で動画を再生してOJTに活用！  
「指導内容」の統一が図れる

動画マニュアルの活用により、基本的な技術指導の負担が軽減できます。  
ポイントを記載した指導マニュアルや点検表は介護技術のチェックとして活用できます。

一人職場の在宅や現場で活用！誰にも聞けない「疑問」が解消できる



インターネットが繋がる環境であれば、在宅の介護時や施設の居室等で、動画を見ながらケアができます。  
「わからない」ことへの不安が軽減されます。

空いた時間を有効活用！場所と時間を選ばず「苦手な分野」を確認できる



パソコン、スマートフォン・タブレットで、見たいマニュアルを選んで再生ボタンを押すだけで介護技術の向上が図れます。

「いつでも」「どこでも」「何度でも」  
「必要な人が」「必要なとき」「必要な技術」  
を習得することができます。



# 配信コンテンツの一例

マニュアルの内容は随時追加し、  
配信コンテンツの充実をして参ります。

|                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|---------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 介助の基本技術             | 1. 基本の構え 2. 支えの練習（両手） 3. 両肘での支え 4. 脇での支え 5. 動きの伝え方<br>6. 介助の基本まとめ 7. 前方から両肘での介助 8. 誤った歩行介助の例 9. 一本杖の介助<br>10. 歩行車・歩行器・シルバーカーでの歩行の介助 11. 立ち上がりの準備姿勢<br>12. 基本の立ち上がり 13. 体幹を支えての立ち上がり 14. 体幹を支えて座る<br>15. 体格差がある場合の立ち上がり 16. 脇支持での立ち上がり 17. 脇を介助して座る<br>18. 介助バーについて 19. 自立した移乗 20. 脇支えでの移乗 21. 体幹を支えての移乗<br>22. 後方からの移乗介助 23. 車イスからベッドへの移乗 24. 二人での移乗介助<br>25. 寝返りの準備 26. 寝返りの基本 27. 麻痺側（右側）への寝返り<br>28. 非麻痺側（左側）への寝返り 29. その他の寝返り応用 30. 起き上がりの準備姿勢<br>31. 右側に起き上がる 32. 臥位に戻る 33. ギャッジを拳上して端坐位になる                                                                                                                  |
| 移乗                  | 1. 立ち上がりと着座の基本動作 2. よくありがちな好ましくない移乗方法<br>3. 立位移乗（前方介助） 4. 立位移乗（側方介助） 5. 座位移乗（前方介助）<br>6. 座位移乗（後方介助） 7. 座位移乗（移乗ベルト）<br>8. 移乗ベルトの装着方法、握り方及び操作の方法 9. 座位移乗（移乗ボード）<br>10. 移乗ボードの差し込み方及び使い方 11. 座位移乗（移乗ボード・移乗ベルト）<br>12. 良くない移乗方法（移乗ボード・移乗ベルト） 13. スライディングシートの使い方<br>14. その他のスライディングシートのはずし方<br>15. 据置式リフトを使用した移乗（ベッド→車いす）※ローバックの吊り具<br>16. 据置式リフトを使用した移乗（ベッド→車いす）※ハイバックの吊り具<br>17. 据置式リフトを使用した移乗※トイレ用の吊り具<br>18. 据置式リフトを使用した移乗（車いす→ベッド）※ローバックの吊り具<br>19. 据置式リフトを使用した移乗（車いす→ベッド）※ハイバックの吊り具<br>20. よくない吊り具の装着について 21. 据置式リフトを使用した移乗※スリングシート<br>22. 床走行式リフトを使用した移乗 23. 移乗の見守り<br>24. 移乗ボードを使った座位移乗（前方介助） 25. 立位移乗介助※片マヒの方 |
| 移動                  | 1. 車いすの駆動方法 2. 車いす介助の注意点 3. 車いすでの段差昇降<br>4. 車いすでのスロープの上り下り 5. 杖歩行 6. 車いす上の姿勢保持の視点<br>7. 車いすの駆動方法（車いすを調整） 8. テーブルまでの介助の時の注意点                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 福祉用具                | 1. 車いすの種類 2. 車いす用のクッション 3. 歩行補助杖（T字杖、ロフトランド杖）<br>4. 歩行器・歩行車（持ち上げ型、屋内用、屋外用）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| ポジショニング             | 1. ベッド上でのポジショニング<br>・ ポジショニングの役割 ・ ポジショニングの流れ ・ 仰臥位のポジショニング<br>・ 下肢に拘縮がある場合 ・ 肩をすくめている場合 ・ 常に足首が下になっている場合<br>・ 膝があまり曲がらない、足にむくみがある場合 ・ ポジショニングの確認                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 健康管理                | 1. 体温測定（ベッド上、座位） 2. 体温計の消毒 3. 手首式血圧測定（ベッド上）<br>4. 上腕式血圧測定（ベッド上） 5. 手首式血圧測定（座位） 6. 上腕式血圧測定（座位）<br>7. 血圧急変時（血圧が高い場合） 8. 血圧急変時（血圧が低い場合） 9. 爪切り（足）<br>10. 爪切り（手） 11. 便が出にくいときの対処法                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 排泄                  | 1. おむつの種類 2. パッドの種類 3. テープタイプのおむつの装着方法<br>4. パッド（大）及びおむつ全交換 5. パッド（大）→パッド（大）インナーのみ交換<br>6. チェックポイント（パッドの交換） 7. パッド（小）→パッド（小）インナーのみ交換<br>8. 男性の場合のパッドの装着方法<br>9. 股関節が広がらない方の場合（拘縮または麻痺のあるケース）<br>10. 2WAYタイプのおむつの場合 11. パンツタイプのおむつの装着方法<br>12. パッド用サポーターの装着方法 13. おむつの装着チェックポイント                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 感染症対策               | 1. マスクの装着（ブリーツタイプ） 2. 立体型のマスクの装着 3. 手袋の着け外し 4. 手洗い                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 服薬                  | 1. 軟膏塗布（腕、背中） 2. 湿布の貼り方（肩、首、手首、肘、足首、足の甲）<br>3. 目薬の射し方 4. 内服介助（舌下錠） 5. 粉薬の介助                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 緊急時対応               | 1. 打撲、内出血の対応 2. 鼻血が出たときの対応 3. 窒息時の対応                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 接遇                  | 1. 基本のあいさつ（良い例、悪い例） 2. ケース別あいさつ（来訪者、車いすの利用者）<br>3. 身だしなみ（良い例、悪い例） 4. 食事のシーン 5. 大タブー 5. 書類の扱い方<br>6. 物の指し示し方 7. 名刺交換 8. ノックの仕方 9. お辞儀 10. 印象の悪い態度                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 食事<br>摂食・嚥下<br>口腔ケア | 1. 改訂水のみテスト 2. 口腔ケア 3. 自力摂取の食事姿勢のポイント 4. フードテスト<br>5. 介助摂取（ベッドサポートなし）の場合の食事介助の基本と食事姿勢のポイント<br>6. 介助摂取（ベッド上リクライニング位）の食事介助<br>7. 介助摂取（ベッド上リクライニング位）の食事姿勢のポイント<br>8. 介助摂取（車いすのリクライニング位）の場合の食事姿勢のポイント<br>9. 口腔機能向上（舌圧訓練） 10. 口腔機能向上（頭頸部、胸郭の関節可動域訓練）<br>11. 口腔機能向上（軟口蓋挙上訓練） 12. 自力摂取の方の食具の選び方と見るポイント<br>13. 車いすでの食事摂取 14. 重度嚥下障害者への食事介助（舌に置く方法、完全側臥位）<br>15. 唾液腺マッサージ 16. 窒息時の対応 17. 反復唾液嚥下テスト 18. 嚥下体操                                                                                                                                                                                                                |
| ボディメカニクス            | 1. 上方移動 2. 手前移動 3. 仰臥位→側臥位 4. 仰臥位→起居→端坐位 5. 立ち上がり<br>6. ベッド→車いすへの移乗（全介助） 7. 車いす→ベッドへの移乗（全介助）<br>8. ベッド→車いすへの移乗（一部介助） 9. 車いす→ベッドへの移乗（一部介助）<br>10. 上方移動（体型の大きい方の場合） 11. 手前移動（体型の大きい方の場合）<br>12. 車いす→いすへの移乗                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |

入浴・姿勢保持・更衣・症状別緊急時対応：撮影後、順次配信いたします。



# 介護技術マニュアル作成の負担が一生無くなる！職員の介護技術の統一（底上げ）ができる！

①介護技術動画

様々な介護技術を10分以内の動画に編集！

よくありがちな「好ましくない介助」の動画もあるため、理解が深まる

専門家による最新の技術を必要に応じて複数のカメラ（例えば上、横、正面）で撮影し、死角なく同時に見られる

上腕式（座位）

手首式（座位）

上腕式（ベッド上）

手首式（ベッド上）

血圧測定

ベッドから車いす移乗（移乗ボード使用）

テーブルへの車いす介助

片マヒのある方の歩行介助（杖使用）

歩行介助（両手引き）

様々な状況を想定し、編集した動画で構成

②指導マニュアル

チェックポイントを記した連続写真により技術を統一できる！



次ページ以降に「指導マニュアル」のサンプルをお付けしています。

動画から抜粋した静止画に**注意事項を記している**のでコツが掴める！

**静止画を時系列に並べているので、指導者は統一した指導**ができる！

自分自身の**技術の確認**の他、**なぜその方法をとるのか**を理解できる！

印刷して**手持ち**で使える！  
ステップに沿って、**わかりやすく実践**できる！

③点検表

手順を示したチェックシートで、手技を確認できる！

| 【座位移乗（移乗ボード）】点検表                                   |      |
|----------------------------------------------------|------|
| 点検項目                                               | チェック |
| ベッドの高さを調節する                                        |      |
| 車いすをベッドに近づける                                       |      |
| 車いすは、ベッドに対して約30度の角度で近づける                           |      |
| ベッドの頭部側に手をついてもらう                                   |      |
| 利用者の座骨（移乗ボードを挿入する側）を浮かせる                           |      |
| 座骨を浮かせ、利用者の体を車いす側へ回転させる                            |      |
| 利用者の座骨の下に移乗ボードを挿入する                                |      |
| 車いすのシートの対角線に対して、約90度の角度に移乗ボードを設置する                 |      |
| 「利用者の車いす側の足」を前方に出してもらう                             |      |
| ベッドに片膝をつき、利用者の横に立つ                                 |      |
| タイヤに足をかける                                          |      |
| アームサポート（利用者から見て遠い方）につかまってもらう                       |      |
| 「アームサポートにつかまっている手と反対側の手」で、サイドレールまたはベッド用すりにつかまってもらう |      |
| 車いす側の座骨（移乗ボード上）に体重がかかるように、利用者の体を車いす側へ傾ける           |      |
| 「サイドレール（ベッド用すり）側の手」でサイドレール（ベッド用すり）を押してもらう          |      |
| 押しながら、移乗ボードで車いす側へすべってもらう                           |      |
| （ベッドと車いすを通過した時）利用者のベッド側の臀部に体重をかける                  |      |

次ページ以降に「点検表」のサンプルをお付けしています。

介護技術の手順（フロー）をA4一枚に**まとめた点検表で手技を確認**！

**点検表をチェックすることで、職員の介護技術を客観的に評価**できる！

職員個々が自己流の介護になるのを防ぎ、**統一した技術に修正**できる！

エクセルファイルをダウンロードするので事業所用に**カスタマイズ**できる！



# 指導マニュアルのサンプル

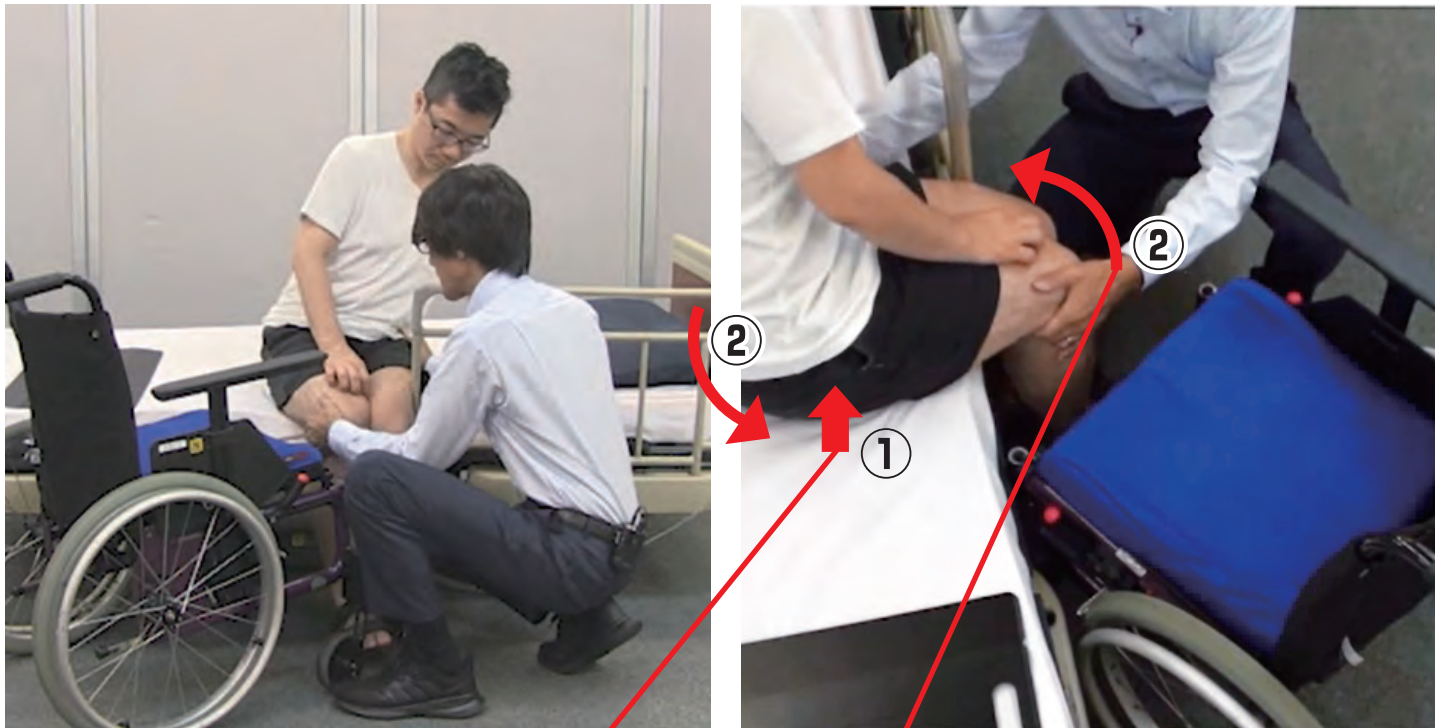
## 座位移乗（移乗ボード）

### ステップ 1：手をついてもらう



ベッドの頭部側に、利用者は手をついてもらいます。

### ステップ 2：体を回転する



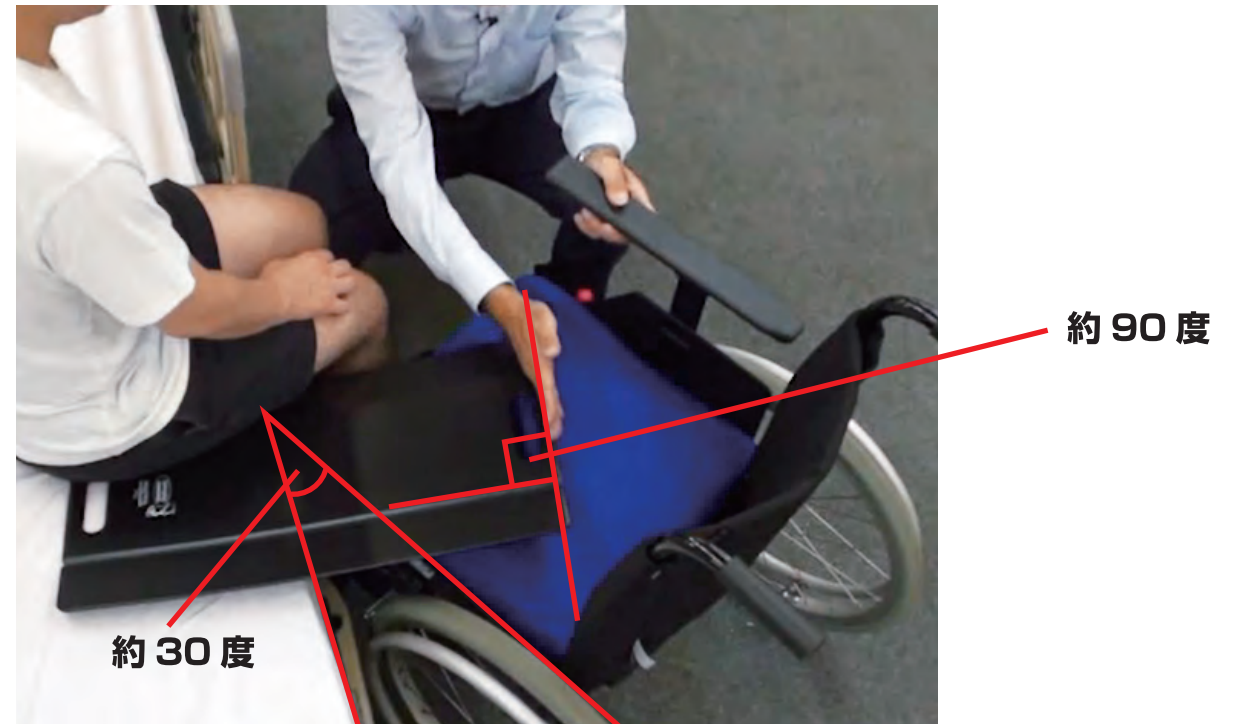
①挿入する移乗ボード側の利用者の座骨を軽く浮かせ、②利用者の体を車いす側へ回転させると、利用者の座骨と車いすとの距離が縮まるので、移乗ボード上の移動がしやすくなります。

### ステップ 3：移乗ボードを挿入する



移乗ボードを挿入するとき、移乗ボードを回転させるように挿入します。

### ステップ 4：移乗ボードの設置角度を確認し移動する



車いすのシートの対角線のところに移乗ボードがくるようにします。この対角線に対して、約 90 度の角度に移乗ボードを設置することができるよう、車いすの位置決めをします。そのときの車いすのベッドに対しての角度は、約 30 度が一つの目安になります。



### ステップ 5：足を前方に出してもらおう



「利用者の車いす側の足」を前方に出してもらいます。

### ステップ 6：ベッドに片膝をつく



介助者はベッドに片膝をついて、利用者の横に立ちます。車いすが移動しないようにタイヤのところに、介助者は足をかけます。

### ステップ 8：サイドレールまたはベッド用手すりにつかまってもらおう



サイドレールまたはベッド用手すりに、サイドレール（ベッド用手すり）側の利用者の手でつかまってもらいます。



### ステップ 7：アームサポートにつかまってもらおう



利用者から見て遠い方のアームサポートに、利用者の手（車いす側）でつかまってもらいます。



### ステップ 9：体を傾ける



車いす側に軽く利用者の体を傾けて、利用者の車いす側の座骨（移乗ボード上）に体重がかかるようにします。





**ステップ 10：サイドレール（ベッド用手すり）を押して移動してもらう**



利用者のサイドレール（ベッド用手すり）側の手でサイドレール（ベッド用手すり）を押しながら、移乗ボードを使って、車いす側へ利用者にすべってもらいます。一度に移動する必要はありません。少しずつゆっくりと、利用者に移動してもらいます。

**ステップ 12：移乗ボードをはずす**



移乗ボードをはずすときは、利用者の大腿部を軽く支えながら、移乗ボードを上にあげていくと、簡単に移乗ボードをはずすことができます。

**ステップ 11：着座してもらう**



利用者がベッドと車いすの間を通過した頃から、「利用者の車いす側の臀部」ですべるのではなく、「ベッド側の臀部」に体重をかけながら、利用者にすべってもらいと、より深く着座してもらうことができます。

# 点検表のサンプル

【座位移乗(移乗ボード)】点検表

| 点検項目                                                  | チェック |
|-------------------------------------------------------|------|
| ベッドの高さを調節する                                           |      |
| 車いすをベッドに近づける<br>車いすは、ベッドに対して約30度の角度で近づける              |      |
| ベッドの頭部側に手をついてもらう                                      |      |
| 利用者の座骨(移乗ボードを挿入する側)を浮かせる                              |      |
| 座骨を浮かせ、利用者の体を車いす側へ回転させる                               |      |
| 利用者の座骨の下に移乗ボードを挿入する                                   |      |
| 車いすのシートの対角線に対して、約90度の角度に移乗ボードを設置する                    |      |
| 「利用者の車いす側の足」を前方に出してもらう                                |      |
| ベッドに片膝をつき、利用者の横に立つ                                    |      |
| タイヤに足をかける                                             |      |
| アームサポート(利用者から見て遠い方)につかまってもらう                          |      |
| 「アームサポートにつかまっている手と反対側の手」で、サイドレールまたはベッド用手すりにつかまってもらう   |      |
| 車いす側の座骨(移乗ボード上)に体重がかかるように、利用者の体を車いす側へ傾ける              |      |
| 「サイドレール(ベッド用手すり)側の手」でサイドレール(ベッド用手すり)を押してもらう           |      |
| 押しながら、移乗ボードで車いす側にすべってもらう                              |      |
| (ベッドと車いすを通過した頃)利用者のベッド側の臀部に体重をかけてもらう                  |      |
| 深く着座してもらう<br>体重をかけてもらいながら、移乗ボードですべってもらうと深く着座させることができる |      |
| 利用者的大腿部を介助者の手で支える                                     |      |
| 大腿部を支えながら、移乗ボードを上にあげ、はずす                              |      |



# 新搭載！ デジタル受講管理システム

(オプションサービス)



現在の e ラーニングシステムの常識を覆す、当社独自の受講管理システム！  
(ビジネスモデル特許出願済)

**受講者側** ➡ 動画を見終わってから、わずか3ステップ・約5秒で報告完了。パソコンの知識はほぼ不要！

**管理者側** ➡ 事前登録など、手間のかかる作業は一切なし！職員の入れ替わり時にも、設定の必要は一切なし！

職員ごと・研修ごと・部署ごと等、事業所の状況に応じて管理できる！個別研修と集合研修の両方が、同じシステム内で管理できる！

## 新搭載！ 多言語サービス

(オプションサービス)

月1500円(税別)で  
全15言語字幕表示可能



外国人の教育・育成に絶大な威力発揮！！外国人への教育担当者が不在でも心配なし！！  
1クリックで他の言語に切り替え可能で、複数の国からの受け入れ施設でも導入負担軽減  
東アジア、東南アジア全対応 15言語字幕搭載(インド、バングラディシュ除く15言語、日本語、英語も搭載)

介護技術動画マニュアルに加え、書式マニュアルも完備！

これで監査は怖くない！ 介護技術動画専用サイトから追加費用一切なしで、  
全サービス・全帳票・全マニュアルを一括ダウンロード



## 介護サービス情報公表及び監査対応 マニュアル・書式・帳票 ダウンロード

必要な帳票、書式マニュアルをサービス別にご用意。

ワード、エクセルでダウンロードできるため、事業所用にカスタマイズ可能！

サービス分類：訪問介護、訪問入浴、訪問看護、訪問リハビリテーション、通所介護、通所リハビリテーション、福祉用具貸与販売、グループホーム、小規模多機能型居宅介護、有料老人ホーム、居宅介護支援、特別養護老人ホーム、介護老人保健施設

|           |                                                                                                                                                             |
|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| サービス提供書式集 | アセスメント(一般、栄養、食事他)、計画書(施設サービス、機能訓練、栄養、レク、排泄、床ずれ、口腔機能他)、実施記録(サービス実施、排泄、服薬、レク、口腔他)、モニタリング(栄養、口腔他)、身体拘束(説明書、経過記録)、栄養測定管理、献立表、利用者状況報告書、相談記録(苦情、相談)、ボランティア(登録、活動) |
| 運営記録      | 契約書、重要事項説明書、同意書(看取り、医療ケア、身体拘束)、現金出納、記録開示記録、議事録、災害時通報一覧、緊急時(連絡カード、一覧表)、事故(報告、検討、ヒヤリ)、家族懇談会、行事(案内、実施記録)、見学、BCP                                                |
| 書式マニュアル   | 個人情報、法令遵守、認知症、身体拘束、外泊面会、入浴・清拭、排泄、服薬、床ずれ、食事、口腔ケア、摂食・嚥下、看取りケア、苦情・事故、緊急時・非常災害時、感染症、食中毒、行方不明、食事介助、接遇、健康管理、相談員業務、観察視点、身体構造、高齢者身体、障害者ケア、熱中症、移動・移乗・通院介助、医学知識       |
| 組織整備記録集   | 倫理規定、就業規則、権限規定、職務分掌、健康管理、個人情報(利用目的、同意、保護)、計画(新人研修、現任研修、年間計画)、自己評価表                                                                                          |

※上記は収納書式の一部です。

## 介護技術動画ネット配信料金

1アカウント  
定価：オープン価格

事業所内でのユーザー名及びパスワードの共有(使いまわし)も可能です。

令和7年度より複数のパソコン、タブレット、スマートフォンからの同時アクセス(ログイン)が可能に！！

実際の動画を閲覧されたい方は、下記の「サンプル動画閲覧方法」の手順にてご覧いただき、ご検討ください。



## 手順 「サンプル動画閲覧方法」

- ① お茶の水ケア マニュアル  [https://www.o-careservice.com/net\\_manual.html](https://www.o-careservice.com/net_manual.html)
- ② <サンプル動画>の再生ボタンをクリックしてください。
- ③ ここをクリックすると動画が再生されます



指導マニュアル・点検表のサンプルを閲覧されたい方は、下記の「指導マニュアル・点検表閲覧方法」の手順にてご覧いただき、ご検討ください。

## 手順 「指導マニュアル・点検表閲覧方法」

- ① お茶の水ケア マニュアル  [https://www.o-careservice.com/net\\_manual.html](https://www.o-careservice.com/net_manual.html)
- ② [指導マニュアル・点検表サンプル \(PDF\)](#) をクリック

③ PDF ファイルが開きます。PDF データをダウンロード後、出力してご利用ください。

Microsoft Edge の場合

Google Chrome の場合

Both screenshots show a red arrow pointing to the 'ダウンロードボタン' (Download button) in the top right corner of the PDF viewer.



日本健康医学会賛助会員  
お茶の水ケアサービス学院

〒101-0032 東京都千代田区岩本町2-19-9 丸栄ビル7F  
TEL 03-3863-4000 (代表) FAX 03-3863-4006  
E-mail [net@o-careservice.com](mailto:net@o-careservice.com)  
URL <https://www.o-careservice.com>